

「あらゆる人が活躍できる」
多様な働き方実現に追い風

街なかへの企業進出が好調 大手人材派遣会社が久留米に

広々としたオフィスに役職と関係なく机が配置されています。社員同士は役職で呼ばないのが慣例。「職場の風通しの良さにつながっています」



雇用やにぎわいを生む

久留米市は4月8日、大手人材派遣会社「パーソルテンプスタッフ」と進出協定を締結しました。同社は東町に、大阪以西を対象とする「ジョブコーディネーターセンター」を開設し、地元から80人程度の雇用を予定。6月から業務を開始します。人口減少や少子高齢化などを背景に、地方の人手不足は深刻です。さらに久留米市は、市内の大

学生の地元企業への就職率も低迷しています。市は幅広い補助制度を準備し、雇用を生み出す企業誘致を進めています。中でも通勤などの便利の良い中心市街地には、オフィスやコールセンターなどを積極的に誘致し、これまでに11社が進出しました。近年は、ビルの所有者が大規模改修を行い、デザインや居住性を向上する動きなども見られ、誘致の追い風に、街なかへの企業進出が順調に増えています。

働く人に成長と充実を

同社の創業者は女性の社会進出を応援していたといいます。協定式の席上、同社の和田孝雄社長はこのことに触れ、「仕事を通してより良い人生をという創業の思いを受け継ぎ、地域で働く人を応援したい」と述べました。久留米市長は「同じ思いです。久留米市はあらゆる人が能力を発揮できる雇用環境づくりを進めています。きっと市の成長の糧になります」と応えました。同センターマネジャーの岡村卓哉さんは「いろいろな状況の人を採用し、それぞれに活躍してほしい」と話します。



協定書を持つ和田社長(左)と大久保市長

4月11日現在で採用された28人中、8割が女性。短時間勤務を選んだ人も数人居るそうです。「管理職を目指したい、経験を積みたい、育児とバランスを取りたい、子育てが終わったなど、幅広い人材を採用しています」。今後、各支社が担当する人材派遣業務のサポートや軽微な事務処理を集めるなど、担当業務を増やす見通しという岡村さん。「そのためにも多様な人材に活躍してもらう必要があり。働く人の適性を把握し、担当業務を決めます。わが社で成長と充実を実感してほしい」と願います。◎企業誘致推進課(☎0942・30・9135、FAX0942・30・9707)

柔道選手権で高校生王者に 南筑・古賀若菜選手が28年ぶりの快挙

4月6日、7日に全日本選抜柔道体重別選手権大会がありました。女子48kg級で、南筑高校3年の古賀若菜選手が得意の大内刈りで初優勝。同大会同級を高校生が制したのは、田村(現・谷)亮子さん以来。28年ぶりの快挙です。今月のスペインジュニア国際大会に出場を控える古賀選手は「優勝を目指します。大きな目標は、オリンピックで優勝することです」と意気込みを語りました。また、女子78kg超級では、同校出身の素根輝選手が3連覇を果たしました。

4月12日に大久保勉市長に優勝を報告しました



静物画に注目 没後50年 坂本繁二郎展

市美術館で「没後50年 坂本繁二郎展」が始まりました。同展では、生涯を通じて描き続けた静物画に特に注目し、坂本の画家人生の歩みを振り返ります。坂本の友人でありライバルだった青木繁の絵も展示しています。

家族で訪れた原田利一郎さん(福岡市)は、「テレビでしか見たことが無かった絵を初めて見ました。感動しました」と話しました。会期は6月9日(日)まで。



坂本の妻・薫を描いた「張り物」に見入る来館者

動画表示も可能 スコアボード改修

平成31年3月、久留米市は、総合スポーツセンター内にある市野球場のスコアボードを改修しました。平成10年に整備した外枠や基礎をそのまま利用し、表示部分を大型スクリーンに変えました。スコアや選手名などの他、写真や動画も表示できます。改修費用は1億8900万円です。◎体育スポーツ課(☎0942・30・9226、FAX0942・30・2259)



フルカラーで見やすく
レイアウトも自由に

ドッグラン オープン1周年

ドッグランがオープンして1年を迎えました。1年間で延べ1万7000匹が利用。同施設は、リバーサイドパーク新宝満川地区にあります。国道3号の近くでアクセスの良さもあり、市外からの利用者も増えています。



飼い主と愛犬が息を合わせてゴールを目指します

4月14日に開かれた1周年記念イベントには、102匹が参加しました。障害物レースでは、愛犬の名前を呼んで誘導する飼い主も。お互いの愛犬を褒め合う飼い主たちでにぎわいました。◎公園緑化推進課(☎0942・30・9085、FAX0942・30・9707)